

■頓阿 歌僧。若くして“和歌四天王”，晩年には「新拾遺集」を完成させて二条派の重鎮。名著「井蛙抄」「愚問賢註」。

とんあ

久明親王将軍1289= 生。俗名は二階堂貞宗(源頼朝の臣の末裔)。

平禅門の乱・1293= 4歳：

・・・・・・1298= 9歳：

・・・・・・1307=18歳：

・・・・・・1311=22歳：この頃、現存最初期の歌「応長百首」。
・・・・・・1312=23歳：出家して比叡山に登り，箒居して，天台宗を学ぼうち，

歌壇活動が顕著になって，二条為世・為藤らとも親交し始め，
・・・・・・1315=26歳：為世主催の花十首寄書に参加。
北条高時執権1316=**27歳**：この頃，金蓮寺の浄阿に入門して，時衆となる。

後醍醐天皇・1318=29歳：和歌所御会始(浄弁・慶運らも)。

・・・・・・1320=31歳：二条為世から古今伝授を受ける。また，為世が撰進した「統千載和歌集」に初入集，

・・・・・・1323=34歳：為世の「統現葉集」などの私撰集にもとられて，

・・・・・・1325=**36歳**：この頃，「頓阿五十首和歌」成るか。***公武僧の歌壇に頭角を現し，吉田兼好・浄弁・慶雲とともに，“和歌四天王”と称されるに至る。**

・・・・・・1330=41歳：「自讃歌抄」成るか。

鎌倉幕府滅亡1333=44歳：

二条河原落書1334=**45歳**：

中先代の乱・1335=46歳：後醍醐天皇の内裏千首に出詠，

南北朝分裂・1336=47歳：

足利尊氏将軍1338=49歳：この年，二条為世が死去。

・・・・・・1343=**54歳**：足利尊氏・直義の信頼も厚く，

・・・・・・1344=55歳：高野山金剛三昧院奉納和歌の作者となる。

・・・・・・1351=62歳：仁和寺上人から状があり，仁和寺境内に住み始めたらしく，

観応の擾乱終1352=**63歳**：二条良基の「後普光園院殿御百首」に跋を記す。

風流を極めた庵室“蔡花園”を設け，以後，悠々たる生活を送りながら，

・・・・・・1357=68歳：自撰の「頓阿法師詠」をつくり，

・・・・・・1359=70歳：自撰「草庵集」成るか。「新千載集」の撰進にあたっては，二条為定を援助し，

・・・・・・1361=**72歳**：この前後，***懇切丁寧な和歌作法書「井蛙抄」をまとめ，**

山名時氏征討1363=74歳：***二条良基の質問に答えた歌論書「愚問賢註」を著し，**

・・・・・・1364=75歳：「十楽庵記」を記す。この年死去した二条為明の跡を引き継いで，「新拾遺集」を完成させるなど，

二条派の重鎮的存在となり，

足利義満将軍1368=79歳：「統草庵集」成るか。

・・・・・・1370=**81歳**：

応安新式・1372=83歳：没した。